

カーボンニュートラルと企業の役割

～気候変動への適応に向けたスズキの取組と取り巻く課題～

気候変動への対応は、気候変動枠組み条約(UNFCCC)、第26回締結国会議(COP26)で「世界の平均気温の上昇を1.5度未満に抑えるための削減強化」を各国に求める「グラスゴー気候合意」が採択されるなど、世界的な課題となっています。また、政府では気候変動対策として、2050年のカーボンニュートラル、2030年に温暖化効果ガスを2013年の46%削減を目標に掲げており、本県でも第4次静岡県地球温暖化対策実行計画を現在策定作業中であり、官民挙げて脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいるところです。



そのような中、海外展開を行っているグローバル企業は、気候変動への適応として、TCFD※提言に基づく対応等が進められてきており、今後は中小企業も脱炭素化に向けた取組が求められると考えられます。

今回は、県内企業の皆様に環境、エネルギー対応への取組の一助としてもらうべく、スズキ㈱の気候変動への取組を講演いただくとともに、静岡県が推進する温暖化対策の取組(支援)について担当者に説明いただきます。 ※TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォース

【日時】 令和4年3月23日(水) 14:00～15:45

【方法】 <選択制(AまたはBをお選びください)>

A: 会場受講(講演を生で聴講いただくことができます)

ホテルグランヒルズ静岡5階 センチュリールーム(静岡市駿河区南町18-1)

※新型コロナウイルスの感染状況によって、会場開催を中止する場合があります

B: オンライン受講

ライブ配信、ビデオ会議アプリの「Zoom」ウェビナーを使用

【参加費】 無料

【内容】 第一部: 脱炭素化に向けた国の動向等トレンド、静岡県の取組(仮)
静岡県経済産業部産業革新局 エネルギー政策課長 川田 剛宏 氏
第二部: 気候変動への適応に向けた企業の取組と取り巻く課題—スズキの場合(仮)
スズキ株式会社 法規認証部 環境グループ長 東 直樹 氏

【定員】 会場受講: 30名 オンライン受講: 50名

※先着順、定員を超えてお申込みがあった場合、SIBAより連絡いたします

【締切】 令和4年3月18日(金)

【主催】 公益社団法人静岡県国際経済振興会(SIBA)

【後援(予定)】 ジェトロ静岡、ジェトロ浜松

【申込方法】 当会ホームページ内の専用サイトよりお申込みください

URL: http://www.siba.or.jp/news/events/post_218.html

【お問合せ】 担当: 上原 TEL: 054-254-5161

MAIL: uehara@siba.or.jp

専用サイト
QRコード

